



名古屋市議員 中田ちづこ



市政・調査活動報告書

〔発行年〕平成20年

第19号



http://www.nakata-chiduko.com

・発行所 自民党名古屋市議員団

・住所 名古屋市中区三の丸3丁目1番1号
(名古屋市内)

・電話(代) 052-961-1111

・連絡先 中田ちづこ事務所

・住所 名古屋市中区大須二丁目13番26号

・電話 052-202-0330

・FAX 052-201-2500

名古屋市内の全公立保育園のエアコンの設置を、 中田ちづこが名古屋市と約束をしました！！

平成19年11月6日(火)

中田ちづこ事務所に大池保育園 父母の会の役員の方が相談に来られました。
内容はエアコンの未設置のクラスがあり、室内が外気と同様の35℃を超える日もあり、
子どもたちは食欲が減退しひどいあせもやアレルギー性皮膚炎の悪化につながった
り、暑さと汗で身体をかきむしり、鼻の中や耳の中までとびひになった子どもの写真も

見ました。市役所の保育課長も
同席しておりましたが現在エア
コンとしての予算は無く、施設
修理費の中での対応なので全
保育園も含め、長期になるとの
事でした。これでは、子どもた
ちの悲鳴が聞こえるような思い
から名古屋市子ども青少年局
佐合局長に父母の会要望書を
手渡す約束をしました。

名古屋市子ども青少年局
局長 佐合 広利 様

2008年度 保育に関する要望書

2007年 11月7日
大池保育園 父母の会

貴局におかれましては、平素から保育行政の充実のためにご協力いただき感謝しております。
日々の保育が一層充実し、子供達が楽しく通え、親が安心して預けられるようになっていきます。
つきましては、来年度予算に関する要望を以下の通り、ご検討いただけますようお願いいたします。

記

エアコン設置について

(1) 幼児クラス(年長)にエアコンを設置してください。

① 2004年度の室温調査でも明らかに、ほとんど毎日の気温が30度を超えています。

園児の生活空間である室内温度がこのような状況では、熱中症を起こす心配もあります。

※資料1 室温等の測定表、熱中症発生

また、保育士職員は熱中症への不安を抱えながら、自らも汗だくで体力の消耗を自覚しながら保育
にあたらなくてはなりません。

② 子供達の成長の機となる給食時間、汗をかきすぎて食欲が減退し体力の低下の原因にもなります。

あまりの暑さから全身にあせもが多量にでき、それをかきむしってしまったことからとびひ
 になってしまった子どもいます。

とびひの皮膚炎 資料

あせもの部分をかきむしり、あつという間に皮膚炎を起してしまいました。
とびひは恐ろしく、耳の中や鼻の穴の中にまで広がります。耳からは汗のようなものがでてきて、
写真をみていただくとわかりますが、
片方の耳は真っ赤になっています。



あつという間に、
顔中がとびひにな
りました。

とびひがひどい場合などは、皮膚科で薬を塗る薬と飲み薬を処方され、受療の許可がでるまで受療できな
いので、その間、私達保護者は仕事を休まなければなりません。
そして、許可が出て受療したとしても園内の暑さから、治癒したところのとびひも再び悪化してしま
ったりします。(この写真は再度悪化したときのものです)

名古屋市子ども青少年局に提出した、エアコンの
設置の要望書です。

たちの健康を守る意味でもその必要性が増している問題である。今後できるだけ早く
できるよう検討してまいりたい」との答弁がありました。

これで名古屋市内、全公立保育園の全クラスにエアコンが早期に設置されます。

平成19年11月28日 本会議の質問にて(原文)

中田ちづこ質問

公立保育所のエアコン設置についておたずねいたします。

近年の夏は、地球温暖化の影響だけではなく、名古屋市においては都心化の進展により、特に都心部ではヒートアイランド現象もあって、さらに暑い状況にあります。

その中で、保育所は、小中学校や幼稚園とは異なり、夏休みがあるわけではなく、記録的な酷暑や猛暑と言われた今年の厳しい夏の時期にも、保育は実施されておりました。一方で各家庭では、エアコンは必需品として普及しております。そのような状況の中で、公立保育所でのエアコンの設置は、乳児室には全室設置されておりますが、3歳児以上の幼児室のうち、多くの保育室で未設置状況になっていると伺っております。

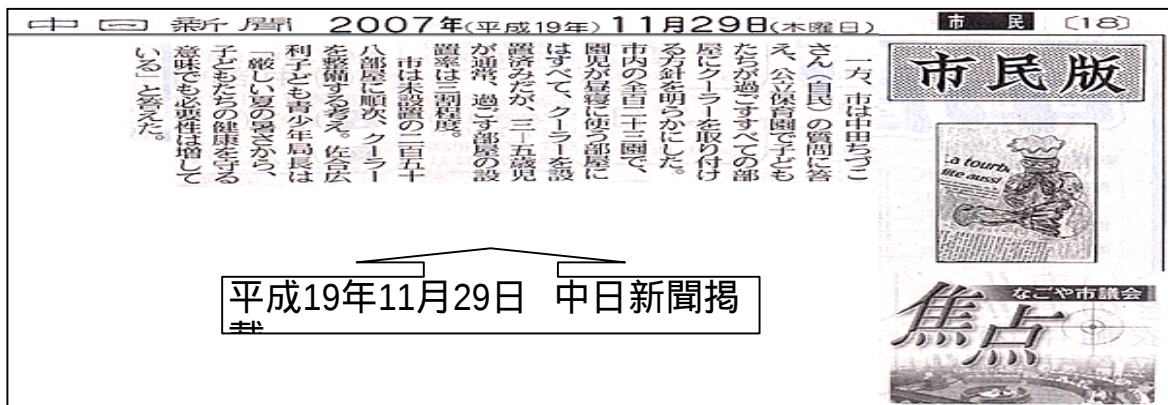
事実、中区にある公立保育所では、エアコンの無い6歳児室の室内が、外気と同様の35℃を越える日も何日もあり、子どもたちは、食欲が減退し、ひどいあせもやアレルギー性皮膚炎の悪化につながったり、暑さと汗で身体をかきむしり、耳の中までトビヒになった園児もいると、父母の会の方から実情を聞いております。

そうした子どもたちの健康を気遣い、保護者の方々の中には、父母の会としてエアコンの寄付を実施された園もあります。

こうした状況を踏まえて、市としてはこの状況をどのようにとらえ、今後どう対応する考えか、子ども青少年局長にお伺いします。

佐合子ども青少年局 局長答弁

公立保育所のエアコンの設置について 公立保育所におけるエアコンの設置は、3歳以上の幼児が午睡に使用する遊戯室に設置するとともに、体温調整能力の未成熟な乳幼児の健康維持の観点から、2歳児までの乳児の保育室への設置を完了し、現在は3歳の保育室から順次設置しているところです。エアコンの設置は、昨今の厳しい夏の暑さから子どもたちの健康を守る意味でも、その必要性が増している問題であると考えております。現在、3歳児から5歳児の保育室のうち3割程度はエアコンを設置している状況にありますが、今後、できるだけ早く設置できるよう検討してまいりたいと考えております。



平成19年11月29日 中日新聞掲

・以上の結果、平成19年度に公立保育園 保育室にエアコンが39室設置され、平成20年度には特別に1,000万円のエアコン設置予算がつき公立保育園 保育室にエアコンが41室設置されました。今後もできるかぎり早期に公立保育園の全室のエアコン設置に向けて、全力を尽くします。

・中田ちづこは皆様の声を聞いて、市政に間違いなく反映をさせていただきます。今回は子どもたちと父母の会の方々の悲痛な叫びを名古屋市に伝え、政策の転換を迫り、市政に反映をさせることができました。中田ちづこは初当選以来14年間、常に「人の心の痛みが分かる政治」を心がけております。今後もこの姿勢を貫き、皆様に安全・安心に生活ができる市政を目指しますので、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

・なお、今月より月数ではなく号数へ変更します。「市政・調査活動報告書」の前身、「中田ちづこレポート」などが14号まで作成してありましたので、合わせて第19号よりスタートします。

名古屋市会議員 中田ちづこ